



◆ 『猿留山道を歩く会』を開催 ◆

10月15日(土)、「2022年猿留山道を歩く会」をわらしやんど事業と合同で実施しました。

秋空の下、寛政十一年(1799年)に開削された国指定史跡「猿留山道」を、総勢26名が歴史と紅葉や苔むした沢等の自然を感じながら歩きました。



写真:沼見峠で記念撮影

沼見峠では、参加者全員で記念撮影、妙見神と馬頭観世音菩薩に安全祈禱をしました。

ゴールの猿留山道橋では、参加者へ記念品「猿留山道徒行記念証」を配布し、参加者からは、「歴史と自然を楽しむことができた。来年度もぜひ参加したい」との声もありました。



写真下:記念品の「猿留山道徒行記念証」

◇ 体験陶芸教室を開催 ◇

10月21日、28日、11月11日の3回の工程で、体験陶芸教室が始まりました。

初日、粘土を練る作業から始まり、「お皿」や「鉢」の形づくりを楽しみながら行いました。



写真:鉢をつくる形づくり作業

二日目、「お皿」や「植木鉢」の厚みなどを調整する形削り作業を行い、作品をしっかりと乾燥させ、素焼きします。



写真:作品を慎重に削る参加者

最終日(11月11日)は、素焼きした作品を色付け作業と本焼きし、完成です。

町指定文化財「一石一字塔」

「一石一字塔」は、百人浜の悲恋沼近くに設置されており、平成14年(2002年)3月20日に町指定文化財第5号に指定されています。

「一石一字塔」は文化三年(1806年)六月に奉納され、建立時は、現在地より庶野側の渚に近い位置に建立されたと考えられています。

由来は、碑文によると海難者の追善供養ですが、ひいては「法力により安全な航海ができるように」との願いがこめられています。

大正十二年(1923年)小越(現えりも岬)の青年団により、現在地に移設されました。

礫石経(れきせききょう)などは確認されていません。

「一石一字塔」の建立には、大法



写真：悲恋沼の近くに設置されている「一石一字塔」

要が施行され、幌泉場所(保呂泉場所)の管長であった八谷佐吉や住民が全面的な支援を行ったと考えられます。

江戸幕府の東蝦夷地での統制を引き引き締める歴史的行為が幌泉場所で行われた物的証拠として、極めて重要な石碑です。

博物館相当施設に指定されました

10月7日(金)、これまでの活動が認められ、えりも町郷土資料館・水産の館が、博物館法に基づき、「博物館に相当する施設」に指定されました。

博物館は、博物館法で登録博物館、博物館相当施設と、それ以外の博物館類似施設の3つに分類されています。



11/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
休館日	○	○	休館日	○	○	○	休館日	○	○	体験陶芸教室	○	○	○	休館日	○	○

18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1	2	3	4
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
○	○	○	○	休館日	○	休館日	○	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○

11月～12月の
開館カレンダー